

科目	通信工学II (Telecommunication Engineering II)		
担当教員	芝田 道 非常勤講師		
対象学年等	電気工学科・5年・後期・選択・2単位 (学修単位II)		
学習・教育目標	A4-E3(100%)	JABEE基準1(1)	(d)1,(d)2-a,(d)2-d,(g)
授業の概要と方針	ローカルエリアネットワークの構築, 管理, 運営に必要な基本技術について, TCP/IPプロトコルを中心に解説する.		
	到達目標	達成度	到達目標毎の評価方法と基準
1	【A4-E3】TCP/IP通信に関する基礎用語の説明ができる.		TCP/IP通信に関する基礎用語の説明ができるか中間試験で60%以上正解を合格として評価する.
2	【A4-E3】TCP/IP通信のしくみが説明できる.		LANにおけるデータ伝送のしくみについてのレポートを電子メールで提出させて60%以上正解を合格として評価する.
3	【A4-E3】2進数, 16進数, 10進数の変換ができる.		2進数, 16進数, 10進数の変換ができるか定期試験で60%以上正解を合格として評価する.
4	【A4-E3】IPアドレスのクラス分けとサブネットの作成ができる.		IPアドレスのクラス分けとサブネットの作成ができるか定期試験で60%以上正解を合格として評価する.
5	【A4-E3】ルータの役割について説明ができる.		ルータの役割について説明ができるか定期試験で60%以上正解を合格として評価する.
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	成績は, 試験80% レポート20% として評価する. 到達目標1, 2, 3, 4, 5の試験80%, 到達目標1, 2, 3, 4, 5のレポート20%で評価する. なお, 試験成績は, 中間試験と定期試験の平均点とする. 100点満点で60点以上を合格とする.		
テキスト	「無線工学」: (電気通信振興会) WEBテキスト プリント		
参考書	「IP-VPNのしくみ」: 芝田道著 (日本実業出版社) 「図解でわかるLANのすべて」: 小泉修著 (日本実業出版社)		
関連科目	電子回路I, 電子回路II		
履修上の注意事項	通信工学を学習するにあたり, 数学, 物理, 電気磁気学をはじめその他多くの専門基礎の理解が必要です. また, 通信工学と発展的につながる教科として電子回路I, 電子回路IIなどを履修しておくことが望ましい.		

